



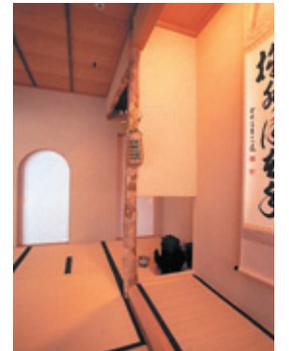
マンションで約束事を守って茶室を造るのはなかなか大変。この家は、お茶の先生でもあるので手抜きはできない。床を上げて炉まで切ってある。床下に茶道具の引出しがあるのはマンションならではの解決法である。

リフォーム前後の写真

リビング続きの和室を
本格茶室に。
ゆとり世代の趣味空間



① リビングから見た茶室。炉を切るため、床を上げてある。



⑤ ▲床前上部には照明を組み込んだ。

④ ◀凛とした空気の漂う床前と炉の周辺。床柱は檜・皮付き丸太、落とし掛けは紋竹、床框は杉無垢丸太



② 引戸を閉めると洋室の雰囲気。床下は引き出しにして、お茶道具などの収納に活用した。



③



⑥ 水屋は廊下側からアクセスする。



⑦ 茶室のバックヤードとなる水屋スペース



⑧ 給仕口(奥)、茶道口(手前)の奥に水屋を備えた本格茶室

リフォームの動機/設計・施工の工夫点/施主の感想 など

《リフォームの動機・要望》	《リフォームのポイント》
1.高齢になると戸建のメンテナンスが大変なので、マンションに住み替えたい。新規分譲物件を購入し、入居前に自分たちのライフスタイルに合わせた内装にしたい。	1.リビング続きの和室部分を水屋付きの茶室用につくり込んだ。
2.茶道教授の奥さまのための茶室をつくりたい。	2.茶室づくりの約束事に従い、細かい部分の納まりや素材の選定を行い、マンションの中にあっても違和感のないお茶室になるよう工夫した。
	3.マンションのモダンな空間に、素材感のある和の要素が加わることによって、全体にシックで落ち着いた空間となった。

特に配慮した住宅性能:

データ		構造/築後年数		鉄筋コンクリート		造/年	
所在地	東京都江東区	構造/築後年数	鉄筋コンクリート	造/	1	年	
該当工事面積	12 m ² /総工事床面積	82 m ²	該当部分工事費	200 万円/総工事費	380 万円		
居住者構成	15歳以上65歳未満:	人/65歳以上:	2 人/15歳未満:	人/ベッド:			
設計者	(株)東急アメニックス	担当者	橋本 碧里・土屋 敬子				
施工者	同上	担当者					

リフォーム前 | リフォーム後

